

# 大学院医学研究科 バイオメディカルサイエンス専攻 講義 臨床研究推進セミナー

# 回帰分析を使いこなそう

対象

一般の臨床研究従事者向け  
(どなたでもご参加いただけます)

2022年12月1日(木)

17:00 ~ 18:00

神戸大学医学部附属病院臨床研究推進センター

講師：特命助教

村上 冨

回帰分析は多くの医学論文で使用されています。回帰分析ではある治療方法(説明変数)が興味ある臨床的な結果(目的変数)にどの程度の影響を与えたか、というような因果関係を検討したり、手元のデータから、同じような因子を持つ対象者がどのような結果になりそうかを予測したりすることが出来ます。

回帰分析で説明変数が複数ある場合を重回帰分析(多変量解析)と呼びます。重回帰分析では、例えば喫煙とある遺伝子多型が肺癌発症に与える影響を検討しようとしたとき、喫煙は遺伝子多型に関わらず同じ程度の影響があると想定しています。遺伝子多型によって喫煙の肺癌発症への影響が異なる、ということを検討したいときもあるかもしれません。その時には交互作用項という、喫煙と遺伝子多型を組み合わせた要素を追加することで検討することが出来ます。さらに、交互作用項に時間の要素を組み入れると経時的なデータの解析にも発展させることが出来ます。

本セミナーでは交互作用を用いた回帰分析についてお話しします。

## 受講希望の方へ

本セミナーは、**ライブ配信にて開催いたします。**

お手数ですが、**11月30日(水)**までに以下の申込フォームよりご登録をお願いいたします。

申込URL: <https://redcap-t1.med.kobe-u.ac.jp/redcap/surveys/?s=JX4WR44XXH>



👉 **本セミナーは、臨床研究従事者等の年2回の必修講習に含まれます!**

このセミナーは、業務上必須のものではありませんので、原則、所定労働時間外であったとしても超過勤務手当は支給されません。ただし、上司からの業務命令(指示)を受けた場合は超過勤務手当が支給されますので、申告してください。

なお、「神戸大学大学院医学研究科又は医学部附属病院における臨床研究従事者等に関する教育・研修にかかる実施要項」で規定されている、臨床研究従事者等が受講すべき教育・研修として本セミナーを選択し、上司からの承認を得て受講する場合(各年度2回まで)は、所定労働時間外の受講については超過勤務手当が支給されますので、申告ください。



臨床研究推進センター

ホームページ: <http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/ctr/researcher/seminar.html>

【お問い合わせ】

神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター  
教育研修担当

TEL: 078-382-6849

e-mail: [ctrcedu-seminar@med.kobe-u.ac.jp](mailto:ctrcedu-seminar@med.kobe-u.ac.jp)